

# 自走式土質改良工の事例①

## 現地改良事例

### 概要

(甲)

発注者 : 直轄事業  
工事種類 : 河川工事  
工期 : H20.3.01~H21.3.31  
工事概要 : 自走式土質改良工  
築堤盛土工

土質 : 第4種建設発生土

### 土質改良

設置場所 : 発生現場内(自走式改良機の活用)  
改良の種類 : 安定処理  
改良材 : 石灰系固化材

### 有効利用の経緯

#### ●土質の調整方法

土砂運搬処分及び盛土材購入にかかる費用と軟弱土改良による流用盛土費用を比較検討し、安価な施工方法を採用した結果、第4種建設発生土の活用を実施。

### ポイント

有効利用に関するコスト比較:

- ①土砂運搬処分+購入土 : 約4,500円/m<sup>3</sup>
- ②安定処理工 : 約2,600円/m<sup>3</sup>・・・採用

### 位置



### 写真

#### 現地改良状況



発生量 :  
約16,800m<sup>3</sup>



活用用途 :  
築堤盛土

有効利用量 :  
15,000m<sup>3</sup>

# 自走式土質改良工の事例②

## 現地改良事例

**概要**

(甲)

発注者 : 金沢河川国道事務所  
工事種類 : 河川工事  
工期 : R4.4.26~R4.11.26  
工事概要 : 自走式土質改良工  
築堤盛土工

土質 : 第4種建設発生土

**土質改良**

設置場所 : 発生現場内(自走式改良機の活用)  
改良の種類 : 安定処理  
改良材 : 石灰系固化材

**有効利用の経緯**

●土質の調整方法  
土砂運搬処分及び盛土材購入にかかる費用と軟弱土改良による流用盛土費用を比較検討した結果、安価な軟弱土改良による流用盛土の活用を実施。

●土工期の調整方法  
改良工事について継続して行っている工事の為、容易に調整を行えた。

**ポイント**

有効利用に関する経済比較 :

土砂運搬処分+盛土材(購入土)と現場発生土の安定処理工法との経済比較を行った場合、安定処理工法が安価(約3割りカット)だったため採用となった。



**写真**

現地改良状況

発生量 : 約30,000m<sup>3</sup>

活用用途 : 築堤盛土  
有効利用量 : 25,000m<sup>3</sup>